

# 令和8年度東京都ボクシング連盟総会議事録

1. 日時：2026年5月6日（水）午後14時30分～

2. 駿台学園視聴覚室

3. 出席者数：総数150名

出席者数 119名（出席者24名、委任者95名）

総会に先立ち遠藤理事長より本総会理事会が有効に成立したことが報告された。

4. 審議事項

【第一号議案】 令和7年度事業報告の件

【第二号議案】 令和7年度事業決算の件

【第三号議案】 令和8年度事業計画の件

【第四号議案】 令和8年度事業予算の件

【第五号議案】 令和8年度人事の件

【第六号議案】 令和7年度東京都ランキングの件

【第七号議案】 その他

5. 議事の経過の概要及び議決の結果

総会に先立ち、以下の通り、会長挨拶及び議長などの指名が行われた。

• 書記の指名

書記として東京大学の矢加部氏が指名された。

議事録署名人の指名

署名人として青山学院大学の篠原氏とサクラウタボクシングジムの内田氏が指名された。

• 会長の挨拶

瀬尾会長よりこの10年の振り返り、この2年の順調な運営状況の紹介と日頃の関係者協力の御礼、今後の世界スタンダードに向けてのボクシング界の取り組みに対する協力依頼がなされた。

併せて本会の議長として、会長より、本連盟理事長の遠藤寛治氏が指名された。

### 【第一号議案】2025年度（令和 7 年度）事業報告

橋口氏より 2025年度事業報告（案）が示され、全会一致を以て承認可決された。

### 【第二号議案】2025年度（令和 7 年度）事業決算

城崎氏より 2025年度（令和 7 年度）の収支決算報告が示され、前年からの決算方法の変更点や具体的な収支の詳細及び確認事項について説明があり、全会一致を以て承認可決された。

#### ・補足事項

- ・ 全日関東予選で預り金に3,000円のマイナスがる。これは申し込み後に辞退した選手があり、参加費発生タイミングについてのルールが東京都連盟と関東連盟の間でズレがあったため。
- ・ 試合費が収支ともに増えているのは、昨年度が国スポ開催年にあたりその予選会があったこと、オープン戦を昨年より2試合多く開催したことによる。
- ・ 審判謝礼が増えているのは試合数が増加したことに加え、審判謝礼を一昨年度の1日¥3,000から昨年度は1日¥5,000に値上げしたことによる。

会計担当の説明後、監事の穎川氏より、令和7年度の帳簿及び証憑書類を全て慎重に監査した結果、いずれも適正であり法令や定款違反がない旨が報告された。また期ずれ防止の観点から、現場でかかった費用は速やかに会計担当者へ報告するよう依頼があった。

また遠藤理事長より、都連会計以外に東京都スポーツ協会からの委託事業が8事業あり、その会計についての補足があった。

### 【第三号議案】2026年度（令和 8 年度）事業計画

林田氏より 2026年度事業計画（案）が示され、特に大きな変更点はなく、全会一致を以て承認可決された。詳細及び確認事項は以下の通り。

- ・ 全日本選手権と社会人選手権の日程について  
全日本選手権が12月、社会人選手権は11月に変更。
- ・ 会場について  
・ 東京都マス予選、東京都選手権など会場未定の試合が多い。試合の1ヶ月前ぐらいには要項を送付するので、それまでには確定する。

- ・ほとんどの大会を土日、祝日に合わせている、UJ大会などは土曜日に授業がある生徒がいるため、日曜日を優先的に組んでいる。
- ・審判員がいないと試合が成立しないため、選手を抱えている指導者の方には、審判試験、講習などを受けていただき、審判もできるようにしていただきたい。

#### ・質問事項

- ・会場が決まっていない試合をもう一度教えていただきたい。  
⇒7月18日からの東京都選手権と7月25からのマス予選、9月の社会人選手権。エリート、シニアの大会は決まりにくい状況。
- ・1月9日（土）の青山・東北学院の試合を10月17日（土）に変えていただきたい。  
⇒検討する。ダメなら1月9日（土）で仕方ないという認識で良いか。  
⇒了解

#### ・お願い

- ・会場の使用ルールを厳守いただきたい。府中東は高校の試合以外は使用不可になった。現状の不適切な使用状況が続くと、駿台学園も使えなくなってしまう可能性もある。
- ・再度審判問題について。試合開催にあたり、審判確保に難儀している。1名でも審判数を増やしたい。ぜひ講習会に参加いただき、審判資格を取得していただきたい。

#### 【第四号議案】2026年度（令和8年度）事業予算（案）

城崎氏より 2026年度事業予算（案）が示された。ほぼ昨年と同様の予算案。

#### ・補足事項

- ・派遣遠征費は国スポがない代わりに青森で国スポ記念大会大が開催予定のため若干多くしている。
- ・用具費について、体温計の買い替え、聴診器、打鍵器、ペンライトのセット2セット追加等補充予定で、5万円ほど見ている。

#### ・お願い

- ・遠藤氏より。事務費用について。総務委員長の林田さんに多様な総務業務を実施いただいているおり、その謝礼月1万円を計上している。しかし、資料関係作成、その他国スポ関係、日連関係など相当の業務負担があり、月3万円ぐらいは費用計上をさせていただきたい。年間では75万円を計上させていただく。

- ・また、事務的なパソコンができる方、林田さんの負担を減らすために、ご協力いただきたい。

以上、全会一致を以て承認可決された。

#### 【第五号議案】2026年度（令和8年度）人事の件

##### ・理事数増減の件

- ・現在理事の総数は30名であるが、新たにMUGENジムの山口雄史氏、青山学院大学の篠原一三氏、サクラウタボクシングジムの内田義則氏、この3名の追加を提案。また日体大へ浅沼氏に代わる人材の推薦を依頼。

一方、監事の穎川氏に牽制機能を持たせる目的から、同氏には理事から外れてもらい、独立性を高めることとした。なお、同氏への理事会等の情報共有は、従来どおり継続するものとする。

⇒承認。

##### ・新体制

名誉会長：西村康稔氏

会長：瀬尾兼秀氏

副会長：小坂則夫氏、吉田亨氏、

理事長：遠藤寛治氏、

副理事長：城崎昌彦氏、林田太郎氏

会計担当：城崎昌彦氏

監事：穎川徳夫氏

総務委員長：林田太郎氏

強化委員長：林田太郎氏

シニア担当：林田太郎氏

社会人担当：内田義則氏

ジュニア担当：東隆道氏、関口孝氏

UJ担当：小坂健吾氏

女子担当：久保康二氏

マス担当：山口雄史氏（補佐）高橋泰之氏、平嶋哲也氏

パラ委員長：遠藤寛治氏

審判部長：山崎哲男氏

医事委員長：山口壮氏

倫理委員長：林田太郎氏

#### 東京都スポーツ協会関連

競技力向上委員長：林田太郎氏

トップアスリート事業：八木鉄雄氏

ジュニア育成強化事業：小坂健吾氏

国スポ候補強化事業：林田太郎氏

専門人材活用事業：林田太郎氏

暑さ対策事業：林田太郎氏

オリンピック候補事業：林田太郎氏

(全般補佐)遠藤寛治氏

以上、全会一致を以て承認可決された。

#### 【第六号議案】2025年度（令和7年度）東京都ランキングの件

##### ・順位のお考え方

- ・どのカテゴリーでも選手権があり、選手権の入賞者から順番にトーナメント表を見て策定。その後、例えばエリートであれば社会人選手権もあり、社会人選手権上位者から順に考慮。東京都のジュニアランキングはインターハイ予選を優先的に考慮。

#### 【第七号議案】その他

##### ・テジョン連盟と東京都連盟との合同練習・親善試合

- ・専修大学小坂氏より説明。専修大学は韓国のテジョン大学と合同練習を二年に一回実施。その延長で、東京都連盟とテジョン連盟との合同練習・親善試合を検討中。

##### ・マスポクシング専門の審判について

- ・マス委員長の山口氏より説明。マス予選は2日間にわたって実施。参加者も増加中。ただ、審判数が圧倒的に不足しており、今後開催困難になることが危惧される。マス審判を増加するような施策をお願いしたい。日本連盟の方で、マスポクシング専用の審判制度を作っていただきたい。

⇒東京都にマス委員長が願うするのではなくて、マス委員長が全日本マス委員会の中で声を大にして言うてだきたい。東京都の意見を代表して進言いただきたい。


⇒承知した。

以上をもって本総会・理事会における全議案及び報告事項を終了し、遠藤理事長が 15 時 30分閉会を宣した。

上記議事の経過の要領およびその結果を明確にするため本議事録を作成する。以上、この議事録が正確であることを証す。

2026年5月15日

議事録書記

矢加部 久孝 

議事録署名人

内田 義則 

議事録署名人

篠原 一三 